



学校だより

令和2年度小川中学校
令和2年12月21日 発行

NO, 10 文責:小林 浩一

<11月25日(水)校長講話より>

令和3年度、第64期の生徒会三役が、皆さんの投票により決定しました。昨日、校長室と職員室で新三役の皆さんが決意を語ってくれました。新しい生徒会の誕生と同時に、今の三年生が中心となっている第63期の生徒会も、残すところわずかとなりました。現在行っている秋の読書月間で、大きな活動は終了となるのでしょうか。三年生が運営する最後の生徒総会まで、あと2週間ほど。まとめと引き継ぎをよろしく願います。二年生は新しい生徒会作りに、一年生は六年生を受け入れる準備と忙しくなりますが、自分たちの学年でしかできないことに、是非チャレンジして下さい。



さて、新型コロナウイルスの感染拡大が止まない状況です。小川村を含む長野圏域はレベル4「新型コロナウイルス特別警報」となっており、今までにはなかった状況下におかれています。

厳しい状況の中で私たちは生活していますが、先日の北信新人大会では、男子バレーボール部の皆さんが大会に参加することができませんでした。合同チームを組む他校の事情によるものですが、目の前にあった大会への参加という権利が、突然奪われてしまいました。男子バレーボール部の皆さんはこう語っていました。「とても悔しい」「延長部活で遅くまで練習してきた成果を発揮しなかった」「去年は台風19号で、今年はコロナウイルスで、2年連続は厳しい」。これらの思い、本当にその通りだなと聞いていて感じました。彼らの無念さが伝わってきました。でも最後には、「しょうがないです」「誰が悪いわけじゃありません」と心の整理がついた胸の内を語ってくれました。

小川中学校の生徒ではありませんが、ある女子生徒の思いを聞いて下さい。

今日は新人戦。この大会で勝ち進んで県大会に出ること。これが私たちの目標であり、夢でした。でも、私は今家にいます。突然の自宅待機となってしまいました。今頃大会が始まっただろうか。この時間、本当は私たちがコートに立っているはずだった。どうしてこうなってしまったのだろう。大会に出られないこと。悔しいし辛い。目の前から、私たちの目標や夢が、突然奪われてしまいました。

本校と同じように、大会への参加が叶わなかった学校がいくつもありました。明日のために大会前最後の練習をしている最中に、大会に出ることができないことを知った学校もあります。本校もそうでした。その無念さ、悔しさはどのチームも同じです。

先ほどの女子生徒の思いを続けます。

大会に出ることができない悔しいし辛い。でも今、一番辛いのは誰だろうって考えてみました。

コロナウイルスに感染してしまった子。誰かは分からないけど、その子が今一番辛い思い、悲しい思い、苦しい思いをしているんだろう。

自分が感染してしまったせいで、周りの多くの友達に迷惑をかけてしまった。部活動の大会に出ることができなくなってしまった友達がいる。家族での旅行が突然キャンセルになってしまった友達もいる。検定や体験学習や、いろいろな活動ができなくなってしまった。それを全部自分のせいだと、苦しんでいるだろう。そして感染してしまったのが自分だと周りに知られてしまうと、何を言われるか分からない。

どんなひどいことを言われるか分からない。そんな恐怖の中にいるに違いない。退院しても学校に来るのが辛いだろう。辛いというより怖いんじゃないだろうか。

私も大会に出ることができなくなって辛いけど、その何倍も、何十倍もこの子は苦しんでいると思う。コロナウイルスに感染したくて感染したわけではない。運悪く感染してしまったのだから、この子を責めることは絶対にできないと思う。誰かは分からないけど、休んでいた子が登校してきたら、優しく声をかけてあげたい。

という、ある中学生の思いです。

一番苦しんでいる人の立場に立つ。一番辛い思いをしている友達に寄り添う。とても大切なことを、この思いから教えていただきました。

私は思います。この件で一番苦しい思いをしている人は、感染してしまった生徒かもしれない。でももっと苦しい思いをしているのは、この子の母親ではないでしょうか。自分の大切な子どもが、コロナウイルスに感染したことにより、苦しんでいる。自分の目の前で苦しんでいる。そして、学校に行くことも恐れている。友達にどんな態度を取られるのか。誹謗中傷がないだろうか。自分の子どもが、この先どうなっていくのか、不安で心配で心が張り裂けそうな思いをしているでしょう。何より、今回は母親が職場で感染し、それを家庭で自分の子どもにうつしてしまった。自分の子どもが苦しんでいるのは、全て私のせいなんだ。そんな思いで自分を責めているでしょう。

それを考えた時に、コロナウイルス感染者への誹謗中傷は、今苦しんでいる人に、もっと大きな苦しみを与えることであり、絶対にしてはいけないことだと改めて考えさせられました。

これから先、何があるか分かりません。どんな世の中になっていくのか予想もつきません。でもその中であって、「今苦しんでいる人」「今辛い思いをしている人」「今悲しい思いをしている人」に思いを寄せられる、そんな小川中学校の生徒の皆さんと、私たち先生方でありたい。そんな思いを強くしました。

どの学年も、これから大切な時期になっていきます。基本的な感染対策をもう一度見直し、また体調不良の時は無理をしないで、健康な生活を心がけていきましょう。

～校長講話の感想より～

自分たちもコロナの中、大会をやらせてもらってとても感謝しているし、大会に出られなかった人たちの分まで、しっかりと試合ができたと思います。本当に感謝しています。

自分たちもコロナに負けず、頑張っていきたいと思います。(1年生女子)

男子バレーボール部の人たちは大会に出られなくて、せっかく延長部活もがんばっていたのに、ひどいと思いました。でも、校長先生がお話ししてくださった、バレーボール部の女の子の話を聞いて、バレー部の人も辛いけど、コロナにかかってしまった人は、もっと辛いし、その人の周りの人も辛い思いをしているということが分かりました。(2年生女子)

現在この世界で一番恐れられているのは、新型コロナウイルスにかもしれないけど、もしそれに感染してしまった時の周りからの目もそれに等しい。又は、それ以上のものであると思う。コロナウイルスの恐ろしさは、熱などではなく、周囲の人たちを変えてしまうことだと思う。このことにも、少しずつ対応していく必要があると思う。一人ひとりがこのことを意識して、変えていかなければならないと思う。

(3年生男子)

11～12月の行事より

< 賞状伝達式 11月25日（水） >

11月25日の校長講話の前に賞状伝達式が行われました。

作品は、犀北支会各校の入選作品と合わせて各校を巡回しています。

小川中学校の展示期間は、1月12日（火）～1月15日（金）です。お楽しみに。

犀北支会図工美術巡回展入選者

- ・ 1学年 女子
- ・ 2学年 女子
- ・ 3学年 女子



< 第2回お話し会 11月26日（木） >



お話し会が寺島妙子さんをお招きして行われました。今回は長編「お話しを運んだ馬」作者：アイザック・バシェビス・シンガーでした。ある男性の一生分のお話しを33分間かけてお話ししてくださいました。

お話の名手ナフタリは愛馬とともに町や村をまわり、子どもたちに物語の楽しさを伝え歩きます。このナフタリこそ、作者の理想の自画像です。作者のIBシンガーはポーランド生まれのユダヤ人、ほぼ自分の半生を書いた作品とも言われています。

長編なのですが、寺島さんは文章を改編することなく、お話しを再構成してお話しされたそうです。今回はちょっと長かったからあと5分短くしたいと思っていますと帰り際に話されていました。並々ならぬお話し会への熱意を感じました。

< わらすき、清掃作業 12月3日（木）～12月7日（月） >

保護者懇談会が行われている時間に平行して、各学年でわらすき作業と保健・美化委員会みなさんにトイレのワックスがけ、北校舎西階段踊り場の清掃を行っていただきました。

わらすきは、和田先生から、しめ縄を美しくつくるために、わらのすき方、ひものしばり方、しばる場所、わらの束ね方等々細かな所まで教えていただきました。特にひものしばり方は難しく、できた人に教わりながらの作業になりました。

作業は集中して取り組み、3束のわら束から50～60個のしめ縄の束がきれいにできました。右の写真は、2年生数名が、わらすき作業の後に残って、1年生に教えられるようにしめ縄の作り方を和田先生に教えてもらっている所です。2年生にとっては、中心となって行う最初の生徒会行事ですから、自分たちで進めていこうという意気込みを感じました。

保健・美化のみなさんには、廊下の汚れを落としてもらいましたが、これが簡単には落ちず、かなりの重労働だったようです。まだ清掃作業の必要な所は、普段の清掃の中で行い、年末年始休業あけまでには、ワックスをかけたいと思います。ご苦労様でした。



＜生徒総会、新旧役員引き継ぎ会 12月11日（金）＞

生徒総会において、第63期生徒会の年間活動計画反省と会計中間報告が、参加会員全員の賛成で可決され、第64期新役員紹介と新生徒会長あいさつ、校長先生のお話があり、その後、引き継ぎ会が委員会ごとに行われました。

総会の冒頭、前会長のお話しの中で、今期を振り返り、来期につなげられるように、活発な意見を出してほしいという言葉に応えるかのように、多くの意見が出されました。特に2年生は全員が積極的に挙手をし、発言していました。

これも新会長の目指す、一人ひとりが活躍する生徒会へとつながる姿ではないかと感じました。

今期を振り返り、時期生徒会のスタートとするのにふさわしい会になったと思います。



【前生徒会長挨拶】



【発言する2年生の姿】



【新役員紹介】



【新旧役員の引き継ぎ】



【委員会毎の引き継ぎ会】

～新生徒会長のお話しより～



みなさんこんにちは。私たちは今、先輩方から生徒会を引き継ぎ、これからがんばるぞという気持ちと、先輩方が創り上げてきた生徒会をしっかりと引き継いでいけるのかという不安な気持ちが半々という心境です。

さて、私たち第64期生徒会では、「生徒一人ひとりが活躍する生徒会」を目標に行っていきたいと思います。そのために、先輩方が

創ってくださった「やりがいをもって参画する生徒会」の足跡を振り返りながら、新たなことに挑戦していきたいと考えています。

僕は生徒のみなさんが生徒会の企画に主体的に加わることで、やりがいを感じてもらえると思っています。そういった中で、一人ひとりが活躍していく生徒会を創るために、ポジティブウイークのように1、2年生がそれぞれ発表する機会を設け、全校生徒のみなさんが参画するようにしたり、3ヶ月に1度、アンケートを取ったりすることで、意見を聞きながら、一人ひとりが活躍する生徒会に一步ずつ近づけていきたいです。生徒のみなさんが気軽に意見を出せるような雰囲気を作っていきたいと思います。

また、副会長も言っていましたが、全校のみなさんが学校生活をより充実させるための新しい企画などを行っていききたいと思います。

新役員全員で力を合わせて取り組んでいきます。よろしくお願ひします。

～校長先生のお話より～



皆さんの生徒総会に私にも時間をいただき、ありがとうございます。

この総会の前に4組の前の廊下を歩いていると、1年生の上履きがきれいに揃えて並べてあり、とても気持ちよくこの会場に入ることができました。そして、この会場の中では、一年間の生徒会の成果をお互いに認め合う多くの意見が出され、とても活発な熱気ある会となりました。

さて、第63期のまとめの総会が終わろうとしています。3年生の皆さんが今日まで引っ張ってきてくれた第63期生徒会を振り返ってみますと、「有言実行」という言葉が最も当てはまるのではないのでしょうか。やると言ったこと、やると決めたことを確実にやってきたこの一年の生徒会でありました。

一年前の選挙公報では、「やりがいを持って参画できる生徒会」を創っていくと宣言してくれました。今年6月の生徒総会でも、皆が参画する生徒会創りを提案してくれました。今日まで、アンケートや振り返りを丁寧に行い、小川中学校の48名が生徒会に参画する意識を高めた、そんな生徒会を運営してくれました。今日の議案書でも、「全校が意識を高めて参画し、全校が同じ目標に向かうことが出来た。全校が参画できる工夫を大切にして活動できた」と成果・反省が書かれていました。この一年間「参画」というキーワードを貫き通した、強い意志を感じる有言実行の生徒会。見事でした。

この生徒会の姿、この3年生の姿を見て、新会長さんは、選挙に関係したお昼の放送で、「3年生の姿、今の会長の姿を見て、自分も生徒会長をやってみようと思った」と語っていました。新男子副会長さんは、選挙公報の中で「学校を引っ張っている生徒会役員の先輩方を見て、僕も生徒会に入ってこの学校をよりよくしていきたいと思った」と書いています。同じく新女子副会長さんは、選挙公報の中で「私は今年、生徒会に参画することの楽しさや、やりがいを強く感じました」と書いています。恐らく同じような思いを、1・2年生の全員が持っているのではないのでしょうか。

3年生の創ってくれた伝統が、確実に1・2年生の心の中に受け継がれています。1・2年生の皆さん。いよいよ第64期生徒会の始まりの時となりました。3年生の熱い思いを受け継いで行きましょう。小川中学校の伝統を受け継いで行きましょう。伝統を受け継ぐとは、前の年と全く同じ事をしていくことではありません。継続する所は継続する。変えない部分は変えない。そして世の中の流れの変化や、自分たちの持ち味を発揮するために、新しいことへの取り組みも大切です。自分たちにしかできない第64期生徒会をこれから創り上げていって下さい。

最後になりますが、3年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。まだ卒業までは4ヶ月あります。生徒会を引き継いでも、1・2年生にとって3年生はとても頼りになる存在です。最後の最後まで1・2年生に優しく指導し、温かく見守ってあげていって下さい。よろしく願いいたします。

<生徒集会・地区生徒会・しめ縄づくり 12月18日（金）>



生徒集会で新会長から、しめ縄づくりについての意義やその後に行われる地区生徒会で紙垂（しで）づくりについての説明が行われました。紙垂づくりでは、型紙から一人5枚を作ることから、時間内に仕上げようとみんな集中して作りました。しめ縄づくりでは、和田先生を講師にお招きし、各会場を回ってもらいながら、丁寧な指導をしていただきました。

一人当たり2～3本のしめ縄をつくることができました。その中の1本はお世話になっている地域の方々のお宅に届けます。喜んでいただけるといいですね。

<お知らせ>

【LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」のお知らせ】

長野県教育委員会より、コロナ禍の長期化に伴う中高生の不安や悩みに対応するために、相談窓口を、3月31日まで延長する通知がありました。相談を希望される方はご利用ください。

- 延長期間 令和3年1月28日から3月31日までの毎週水曜日
- 受付時間 17時～21時（相談終了21時30分）
- 対象者 長野県在中の県内の中・高等学校に在籍する生徒のみなさん
- 相談方法 右のQRコード、または友だち追加URLで「友だち登録」して相談してください。

友だち追加用URL：<https://lin.ee/39nW2JthI>

詳しくは、長野県教育委員会ホームページに掲載してあります。

※LINE相談以外でも下記の窓口は相談を受け付けていますので、ご利用ください。

- 学校生活相談センター 0120-0-78310（24時間受付）gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp
- 子ども支援センター 0800-800-8035（子ども専用ダイヤル 月～土10時～18時）

Kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp



【前PTA副会長様へ感謝状贈呈いたしました】

11月13日（金）に行われた令和元年度正副PTA会長への感謝状贈呈式でお渡しできなかった感謝状を保護者懇談会のおりに前副会長様にお渡しいたしましたので、お知らせいたします。

【12/28（月）1/5（火）1/6（水）及び冬期スクールバス時刻について】

- 12月28日（月）花尾線、日本紀線 15：35（役場前）
- 1月5日（火）花尾線、日本紀線 16：30（役場前）
- 1月6日（水）花尾線、日本紀線 15：35（役場前）

冬期間（12月～3月末）は、基本的には以下の時刻になりますので、よろしく願いいたします。

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| 水曜日 | 花尾線、日本紀線 | 15：10（小学校前発）。 |
| 月、火、木、金曜日は、 | 花尾線 | 16：20（小学校前発） |
| | 日本紀線 | 16：30（小学校前発） |

【年末年始休業について】

12月29日から1月3日まで学校閉庁日となります。ご理解とご協力をお願いいたします。ただし、休み中の事故やけが、病気等あった場合には、学校：026-269-2053までご連絡ください。

